

警察署協議会会議録

筑紫野警察署協議会

開催年月日時	令和5年9月27日 午後1時30分 から 令和5年9月27日 午後2時45分 まで	
開催場所	筑紫野警察署会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
	警察署	署長、副署長、刑事管理官、総務第一課長、 総務第二課長、会計課長、生活安全課長、 地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、 交通課長、警備課長、事務局
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 現在秋の交通安全県民運動期間中である。 本日は、管内の情勢報告等を聞かせて頂きながら協議会を進めていくので、よろしくお願い申し上げます。 【署長挨拶（要旨）】 警察署協議会の皆様には、平素から警察活動に対する御理解と御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。 管内の治安情勢については、殺人や強盗などの凶悪犯罪の発生はなく、性犯罪や侵入窃盗も減少しており、比較的安定した情勢であるが、ニセ電話詐欺や、交通事故が多発しているため、署員一丸となって地域住民の安全・安心な暮らしを守っていきたいと考えている。 本協議会は委員の皆様の貴重なご意見を頂ける場であることから、本日はどうかよろしくお願いする。 【報告事項等】 ○ 管内の情勢報告について（総務第一課長） 1 管内刑法犯認知件数（令和5年8月末現在） 2 暴力団壊滅への取組 3 交通事故発生状況（令和5年8月末現在） ○ 警察の災害警備活動について（警備課長） 1 警察における災害警備活動		

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要

2 具体的な活動

- (1) 平素の事前準備
- (2) 災害発生時の活動
- (3) 大規模災害発生時
- (4) 本年の災害情勢
- (5) 平成29年7月の災害における対応警察官の活動

3 DVD視聴（平成29年7月発生 北部九州豪雨災害）

○ 地域警察官の活動について（地域課長及び地域課員）

1 若手警察官による職務質問のロールプレイング訓練

- ・ 指導員、被疑者役、警察官2名の計4名で実施

・ 【事例】

自転車に乗車し、警察官を見て反転して立ち去ろうとする不審者に対する職務質問。自転車は盗品ではなかったが、所持品検査の結果、ナイフを発見し、銃砲刀剣類所持等取締法違反で検挙

2 地域警察官の装備品展示及び説明

【質疑応答等】

○ 薬物事案について

委員から「薬物で大麻が増加しているのはなぜか。」等の質疑があり、刑事第二課長から「SNSや繁華街等で、安価で簡単に入手可能であること、たばこ感覚で使用し犯罪の認識がないことで若年層に広がっている状況である。」旨の回答があった。

○ ニセ電話詐欺について

委員から「被害額1000万円の詐欺事件の報告を受けたが、どのような事件なのか。」旨の質疑があり、刑事第二課長から「SNSによる連絡で副業を勧められ、手数料等の名目でお金を騙し取る手口のものである。2～3か月にわたり被害に遭われ、1000万円を超えたことから警察に相談にいられて発覚したものである。」旨の回答があった。

○ 自転車の交通事故発生状況について

委員から

「車・自転車双方の不注意での事故が多いと感じている。」

「子供たちが道路交通法を守って自転車で車道を走っていても、ドライバーの立場からすると怖い。」

「イヤホンをしている自転車運転者を見かけるが、大変危険である。」などの意見があり、交通課長が「早朝立番などの街頭活動や取締り等を行っている。また、学校関係と連携して安全教育を行うなど、多方面からも自転車事故防止対策をしていきたい。」旨の回答があった。

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要

○ 職務質問のロールプレイング訓練について

各委員から「日頃から訓練をしており大変感心した。迫真の訓練を間近に見て、日頃のご苦勞がひしひしと伝わってきた。」旨の意見があった。

委員から「職務質問を相手から断られたらどうするのか。」旨の質疑があり、地域課長から「あくまでも任意活動であり、協力を求めて対応していただくことになる。何ものなければ、感謝の気持ちで対応しているが、不審点があれば、粘り強く追及していくことになる。」旨の回答があった。

【閉会】

以上で、令和5年度第2回筑紫野警察署協議会を閉会する。

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要